

平成29年度 二本松北小学校 学校評価報告書

【教育目標】 ○心豊かな子ども ○進んで学習する子ども ○明るく健康な子ども

【自己評価結果】

A・・・十分達成 B・・・おおむね達成 C・・・課題がある D・・・おおいに課題がある

重点目標	評定	達成状況	次年度の改善策
他とのかかわりを深め、互いのよさを認め合う	B	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつや言葉遣いについては、児童及び保護者アンケートの結果も概ね80%の達成率であり良好である。 ○各学級経営の充実により、児童同士が互いにかかわり合い、よさを認め合う雰囲気の醸成が向上している。QU結果から、学級によっては課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつの飛び交う学校を目指し、全校体制で学期1回のあいさつ運動を行う。 ○道徳と学級会活動の授業を重視し、年間を通して児童同士が互いのよさを認め合うことができるようにしていく。 ・授業参観での保護者と連携した道徳授業 ・子どもが主体となって運営する学級会活動
自ら学ぶ意欲を育て、確かな学力を身に付ける	B	<ul style="list-style-type: none"> ○「学び合いの授業の創造」を掲げて授業改善に取り組んできた結果、児童の学ぶ意欲の向上が図られた。 ○家庭学習については、宿題等の提出率は高いものの、保護者アンケートでは「進んで取り組んでいない」との回答が33%あり、家庭学習の習慣化が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習の在り方を再考し、習慣化を図る。 ・低学年・・・家での学習の仕方の指導徹底 ・中学年・・・家庭学習内容のふり返り(月1) ・高学年・・・家庭学習の計画・内容のふり返り ○学ぶ意欲を育てる授業に改善する。 ・ペアやグループでの学び合いの充実 ・算数での「ジャンプ問題」の実施
自身ともに健康な体を作る	C	<ul style="list-style-type: none"> ○体カテストの結果から学校全体の体力低下傾向が顕著であり、特に走力・持久力に課題がある。 ○児童アンケートで「好き嫌がなく食べることができる」と回答している児童は21%にとどまり、食習慣に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力向上を図る。 ・走力の定期的な記録累積し、目標を持って体力向上に主体的に取り組む。 ○望ましい食習慣の推進をする。 ・食に関する学びの機会の確保 ・給食チェックカードの活用
し、保護者や地域の方々との連携、子どもの安全を守る	B	<ul style="list-style-type: none"> ○見守り隊を始め地域の各種団体と協力し、児童の安全確保をすることができた。 ○集団登校や児童の送迎等については、保護者に協力依頼するなどして安全を確保できた。 ○休み時間等の過ごし方等から児童自身の安全に対する意識は低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の各種団体との連携を強化する。 ・見守り隊の再編成 ・北小の教育を語る会での「子どもの安全確保」についての支援体制について話し合う。 ○子どもの安全指導を徹底する。 ・集団登校の指導強化 ・廊下歩行、教室移動等の実地指導の強化
学校関係者評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の下校時、道路等にでていると、児童の方から元気よくあいさつしてくれることが見られ、とても素晴らしい。 ○授業参観から、北小の先生方が子ども達に愛情を持って関わってくれていることがよく分かる。児童も落ち着いて学習に取り組んでいる。 ○児童の安全面については、今後も関係機関と連携をとり、出来る範囲で体制を整えることが大切である。 	